

単
元
名

～自然災害とともに生きる～

「国土の自然とともに生きる」

教科書出版社名 (教育出版)

○ 小学校 (5) 年 教科等 (社会)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

- ・国土の自然環境について理解する。
- ・地図帳や統計などの資料を通して、情報を適切に調べまとめる力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

- ・自分の考えの根拠となる資料を選ぶ力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- ・学校図書館と地域の図書館の資料やタブレットを使い、日本国内の自然災害に関する様々な情報を集める。
- ・データや資料から考えた問題を解決するためにどのようなことができるか、図書資料やタブレットで集めた情報をもとに自分の考えをもつ。
- ・自分の考えを具体的にまとめ、発表する。

○ 学習の展開 (全 6 時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

第 1 時 (1)	・日本でどのような自然災害が発生しているのか知り、これからの学習の見通しをもつ。
第 2 時 (4)	・各地の大津波への対策や事業に着目して、その役割について考える。 ・各地の大地震への対策や事業に着目して、その役割について考える。 ・各地の大規模な水害や土砂災害などへの対策や事業、自然災害の被害を後世に伝える取組みに着目し、防災・減災への意識を高める。
第 3 時 ☆ (本時)	・学校図書館や地域の図書館の自然災害についての資料やタブレットを使い、自然災害について調べたことを整理して、災害が発生しやすい国土に暮らす一人として、防災や減災に関して自分の考えをもつ。 (令和 5 年度わくわく問題 2 の (3) の設問を参考に作った問題文を読んでワークシートに自分の考えをまとめる。)

(本時6 / 6時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
 自然災害のデータを読み取り、必要な対策を本やタブレットで調べたり、自分で考えたりして文章にまとめる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 本時のめあてを知る。	自然災害についてのデータから必要な対策を考えよう。
15	2. 自然災害についてのデータを1つ以上選び、問題に対する対策を本やタブレットを使って探す。 ・データから問題点を探し、その解決方法を考える。 ・最初に実際に行われている対策を、本やタブレットを使って探す。	災害に関する本を用意する。具体的な対策が載った本を選んでおく。 ・情報カードを用意して見つけた情報を書きだせるようにしておく。
10	3. もう一つの対策を考える。 ・一つ目は違い、あったらいいと思う対策を自分で考える。	・ワークシートに自分の考えを書かせる。
10	4. 本やタブレットで探した対策について、条件にあわせ、実際に行われている対策と自分が考えた対策を文章にまとめる。	
5	5. まとめた文章を発表し、共有する。	



↓ワークシートの一部

多くの対策がなされていても、今もまだ自然災害の被害はなくなっていません。現在の様々な自然災害に関する資料からどのような問題があるのかを考え、その問題を解決するために必要な対策を文章にまとめましょう。↓

文章を書く時には次の条件に合わせて書きましょう。↓

【条件】↓

・もとにする資料を資料1から資料9までの中から1つ以上選びましょう。↓

・初めに、もとにした資料から、どのような問題があると考えたか書きましょう。↓

・次に、その問題を解決するためにどのような対策が必要か、本やタブレットを使って具体的に書きましょう。(今実際に行われている対策と、あればよいと思う対策の二つを書きましょう。)↓